



…今日も快晴!… トラックドライバー日誌

「安全・安心」に欠かせない取り組みを、サンライズ運送に勤めるスタッフたちそれぞれのエピソードを通じて紹介。

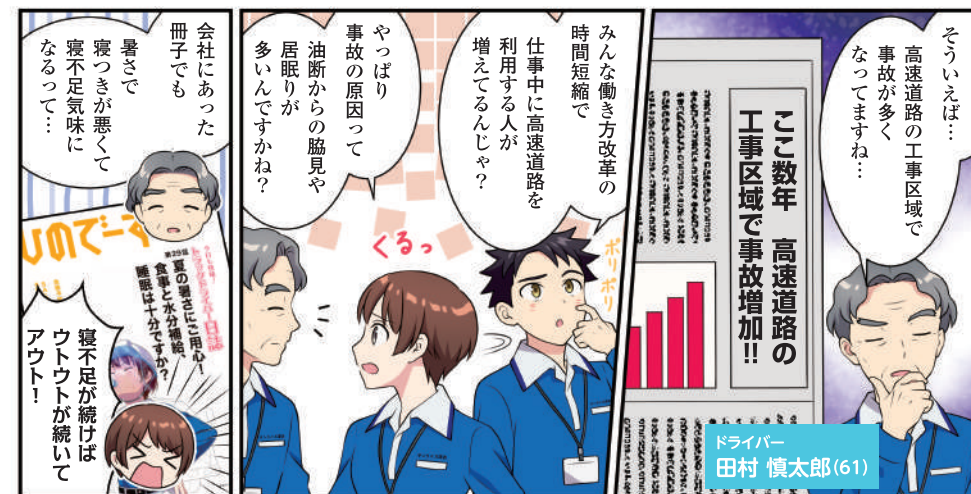
第30話 油断大敵! 高速道路は便利でも 多くの危険が潜んでいる

ドライバー
進藤 亮太(22)

荷主企業さまの社内で
伝票待ち中——

追加注文を…

もう15分
経過…



油断大敵！
高速道路は便利でも多くの危険が潜んでいる

高速道路上は “ありえないこと”も想定して走行を

停車車両の付近から「人が本線に飛び出してくる危険」があり「高速道路で人をはねる危険」があり。
高速道路の路肩には「ありえないことが起こる危険」があると考えましょう。



マンガ制作: ad-manga.com

これは高速道路だけでなく一般道路でも同じことがいえませんが、前車よりも速度が速ければ、車間距離が短くなります。一方、前車よりも速度を抑えると、車間距離が長くなります。

車間距離が長くなれば、「どこぞとばかりに他の車が割り込んでくるでしょう。それに対し、いちいち腹を立てずに、割り込まれるものと割り切つて、ゆるめることに慣れましょう。割り込み車両に「イラッとする」のではなく、割り込み車両に「ご迷惑をかけた」と思えば、腹が立たずに角も立ちません。

割り込んでくる人には、すべて「ゆるめる運転」で対応を。ゆるずつてあげると、何人かにひとりは軽くお辞儀をするなど「ありがたう」のサインを出してくれます。逆に「ありがたう」のサインを出さない人は危険人物といつくりの認識を持って、速度を落とし、車両を割り込ませる程の車間距離をとりましょう。



高柳 勝二 (たかながき かつふみ)

株式会社 プロデキューブ代表取締役。1990年、運送会社にドライバーとして入社し、管理職を経て18年間勤務。2008年に株式会社 プロデキューブ設立。中小運送会社からの依頼が多い「提案型」研修は、受講されたドライバーや管理者からの「おもしろい」「眠くならない」「分かりやすい」との評判が口コミで広がり、各都道府県のトラック協会や協同組合等の研修会でも講演多数。2016年度から2022年度まで国土交通省「自動車運送事業に係る交通事故対策検討会」委員。

路肩に車→車線変更の準備を！

高速道路上で「車が動かない」や「車を動かさない」状態になって路肩に停車すると、その側を高速で車両が通り抜けていくのが想像できるかと思えます。これを言い換えれば、新幹線がホームドアのない状況で減速せずに何台も側を通過していくようなもの。万一接触すれば、軽微な事故で済むことはほとんどなく・・・。

高速道路の路肩は特に危険な場所です。事故や故障により「路肩に停車車両あり」とこの電光掲示板の情報や目視で発見したときには、一番左の車線を走行していたら、ひとつ内側の車線に変更しましょう。

割り込みにイライラではなく、笑顔で「ご迷惑をかけた」

SA・PAで休憩をとり、リフレッシュ

眠気を感じたら、予定よりもひとつ手前のパーキングへ。
連続運転の時間を短くしてリフレッシュしてから目的地に向かいましょう。



眠気による事故防止のため
休憩はこまめに！

事故件数は少なくても重大事故が多い

拘束時間を短縮するために、以前よりも利用頻度が多くなった高速道路。高速道路には交差点がなく、並走する自動車や横断する歩行者もいないことから、交通事故の発生率は一般道路よりも少なくなります。しかし、走行速度と油断が増す分、1件の事故に対する致死率は一般道の約3倍といわれています。「速度×油断＝致死率」であり、「高速道 油断で脇見 加害増す」と考えるべきでしょう。

また、運転中の確認や操作の行動が減ると眠気も増すものです。高速道路の走行時に使用するオートクルーズは便利な機能ですが、アクセルを踏む行動がなくなることから体の動きが減って、眠気を感じやすくなります。対策として、予定よりも早めにサービスエリアなどで休憩をとり、連続運転の時間をいつもよりも縮めるようにしましょう。

目的地に向けて早く到着するための高速道路。事故発生により、お客さま先にたどり着けなくなってしまう。

高速道路での運転は 余裕を忘れずに

拘束時間を短縮できる高速道路。一方で高速道路での事故は、一般道路と比べて甚大な被害になりやすい傾向があり、車間距離をとるなど余裕を持った運転が安全の力を握ります。